

経営比較分析表（令和2年度決算）

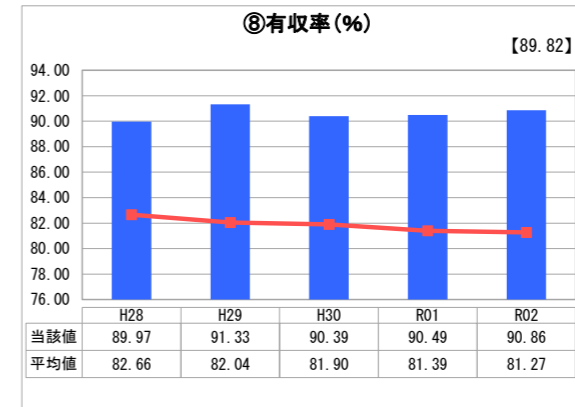
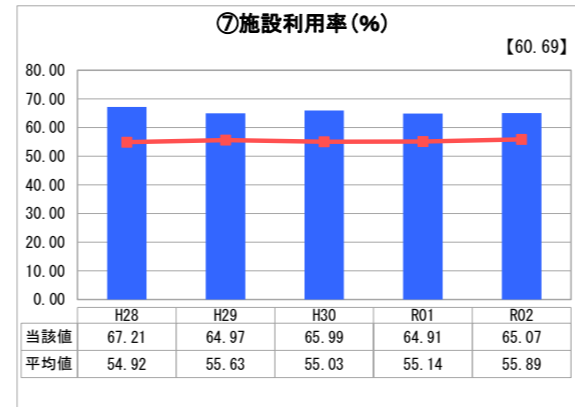
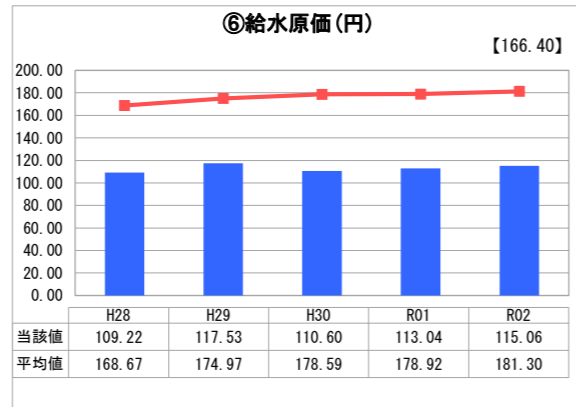
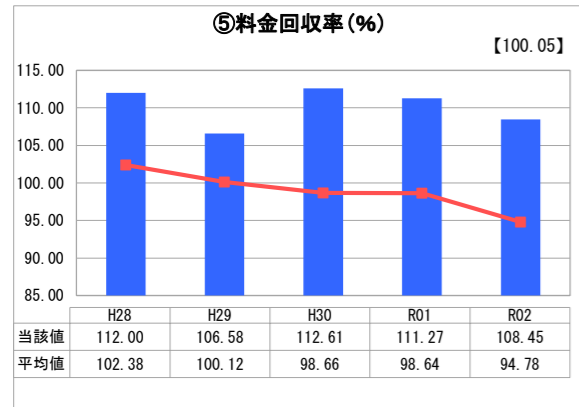
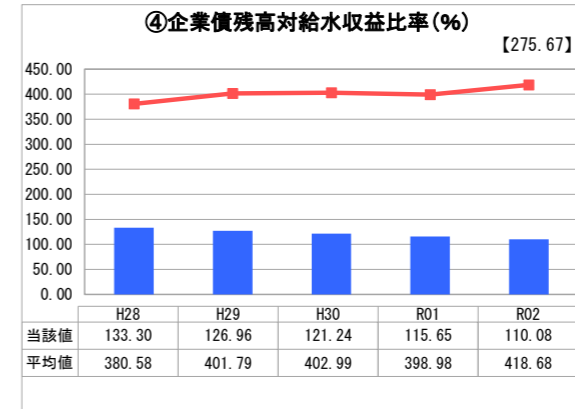
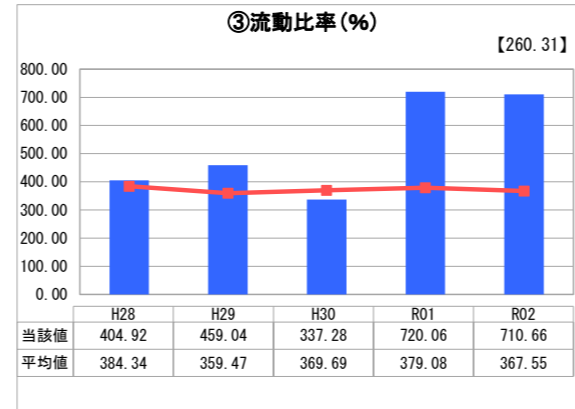
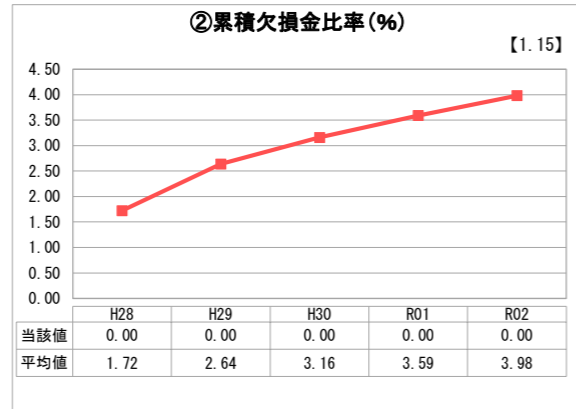
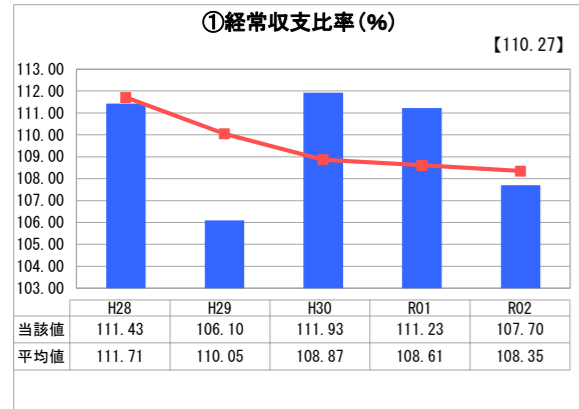
熊本県 八代生活環境事務組合（事業会計分）

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	85.35	18.68	2,750	

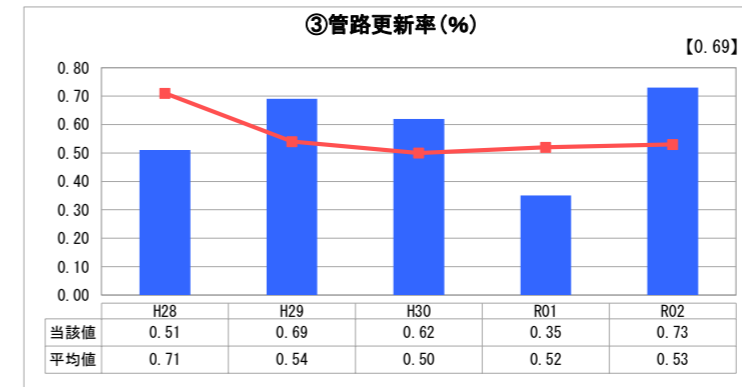
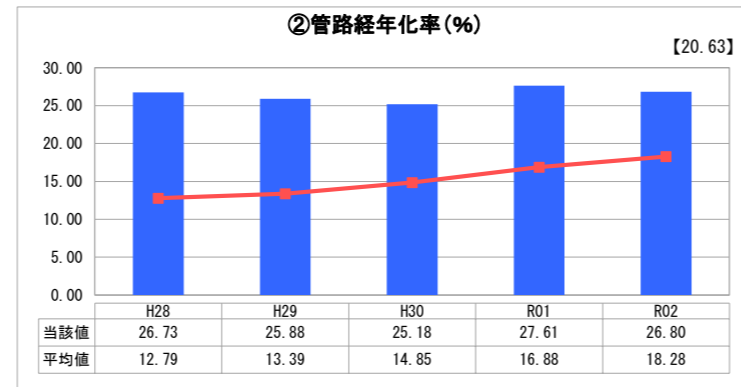
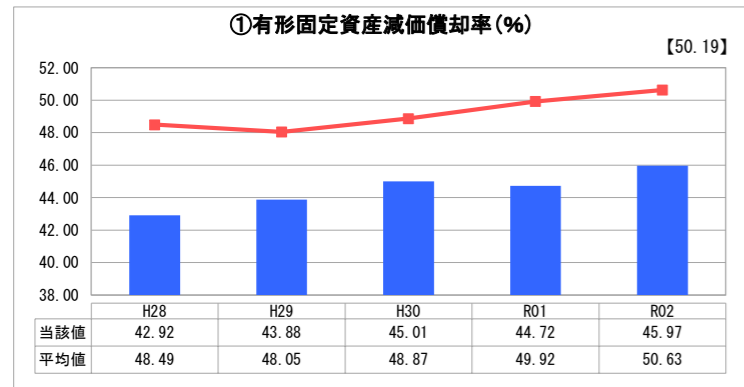
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
-	-	-
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
25,467	403.86	63.06

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

○健全性について
 経常収支比率は、100%を上回る数値で推移しており、黒字経営を維持しています。累積欠損金も発生しておらず、料金回収率も100%を上回っているため、給水に係る費用が料金収入によって賄えているといえます。
 流動比率は前年度に比べわずかに減少していますが、十分な支払い能力があり良好な経営がなされているといえます。
 企業債残高対給水収益比率は、減少傾向にあり類似団体と比較しても低い数字を保っています。

○効率性について
 施設利用率については類似団体及び全国平均よりも高い数値となっており、例年同様、水源である水川ダムの水権の範囲内での適切な運用を行っています。
 有収率においても類似団体、全国平均を上回っていることから、適切な維持管理を行えていることが給水収益に反映されていると考えられます。

2. 老朽化の状況について

経年化率は、類似団体や全国平均に比べ高い値にあります。今年度は下水道工事や道路改良工事等に併せて布設替え工事を行ったため、前年度より管路更新率は上昇しているものの、依然として管路の老朽化が進んでいるのが現状です。

全体総括

現時点では経営の健全性及び効率性については概ね確保できているといえます。
 しかし今後、水需要の低迷による料金収入の減少の一方で、浄水場及び導送水管、耐用年数を経過した管路の更新に膨大な事業費が必要となることから、資金積立のため料金改定が必要となることから、それらの計画を基に安定した経営を継続できるよう努めてまいります。